

生徒の皆さんへ

学習用タブレットを使いこなして、自分を育てましょう

学習用タブレットを3年間お貸しします。"学習用"と、わざわざ名付けている理由は、次の3つの力を身に付けるために使うタブレットだからです。

- ・自分で目標を立て、計画的に学習する力……（〇〇したい。この計画で！）
- ・情報を集めて選び、まとめて表現する力……（これとあれで、こう考えてみた！）
- ・課題を見つけて、他者と共に解決する力……（あの子の意見と合わせたら！）

※学習用タブレット運用ガイドブック（豊田市作成）を分かりやすく改変

これらの力を身に付けるために、どんどん使ってください。どんどんとは、乱暴にという意味ではありません。借り物ですので、自分のもの以上に大切に使う、大人の使い方を心がけます。壊してしまったときは、壊れた原因がきちんと説明できるように、意識して使うということです。

ところで、数年後はどんな世界になっているでしょう。デジタル化が進み、私たちはAI（人工知能）を使いながら生活していることでしょう。タブレットやパソコンなしでは生活ができない世の中になっていることでしょう。

使うときに心がけたいのは次の5つです

- ① 立ち止まって落ち着き、
- ② この先にどんなことが起きそうか想像し、
- ③ 確かな情報を集めて検討し、
- ④ これからの行動をいくつか想定し、
- ⑤ そのうち一つを選んで行動すること

この①から⑤の使い方をマスターできたら、タブレットの一流の使い手となることでしょう。

学習用タブレットは、課金、SNSやYouTubeの視聴などについて、フィルターがかかり操作が制限されていますが、フィルターを外す誘惑に駆られるかも知れません。Qubena（キュビナ）で勉強をしていたのに、しばらくしたら遊びに使いたくなるかも知れません。頼りになるのは自律の心です。

使い方を間違えて失敗するかも知れません。深く考えずに行った失敗は良くありませんが、自分や友達を傷つけないか立ち止まって考え、行動した上での失敗は「その方法がだめだった」ということを学べる貴重な経験です。

困ったときは友だちや先生、親に相談してください。逆に、うまく使えるようになったら先生たちに教えてください。先生たちも使い方を学んでいる最中ですので、生徒の皆さんと共に成長していきたいと思っています。

令和7年4月 竜神中学校長 緒方秀充

保護者の皆様へ

幸せのために！……キーワードは自律／活用／行動規範

本日、お子さんに学習用タブレットを手渡しました。MS アカウントや PW は変わりません。分からなくなった方がおみえでしたら、担任までご連絡ください。

豊田市で学習用タブレットが導入されたのは 2020 年 9 月です。"学習用"と、わざわざ命名したのは、以下の 3 つの力を身に付けるために使うタブレットだからです。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ・自ら目標を立て、計画的に学習する力 | <自立・自律性> |
| ・情報を選択し、つなげて、表現する力 | <言語能力、情報活用能力> |
| ・課題を見つけ、他者と共に解決する力 | <協働性、課題発見・解決能力> |

導入からわずか 4 年で子どもたちの学校生活は激変しました。それに伴い、家庭での生活ぶりも大きく変化したのではないのでしょうか。こうした変動期では、目的にあった良い変化に対して悪影響が必ず共存します。例えば次の通りです。

○良い変化

- ・タブレットを道具として使うことで、自主的に学ぶ手段が増えたこと。
- ・デジタル化に対応した情報収集力や操作スキルを身に付けつつあること。
- ・生徒⇔生徒、生徒⇔教師の双方型授業に移行が進み始めたこと。

▲悪影響

- ・学習以外にタブレットを使い、学習や睡眠の時間が減った子がいること。
- ・フィルタリングなどのセキュリティを解除する方法を試そうとすること。

ご承知のとおり、大人社会は学校以上にデジタル化が進んでいます。お子さんは、そう遠くない未来、デジタルの海の中で社会人として生計を立てていくことになります。この未来社会への対応のために、今年度の全国学力テスト（理科）は全国一律でタブレット上で行います。この子たちが大学入試や入社試験を受ける頃には、タブレット持参で行うような試験に変わっているかも知れません。

間違った使い方をしたら自他を傷つける凶器にもなりうるタブレットを、どうしたら上手に使うことができるのでしょうか。他律（他人任せ）／抑制（〇〇するな）／心情規範（我慢しろ！）ではいつまでたっても上手に使えるようにはなりません。立ち止まり、どうしたら適切に使えるか、考え決めて行動すること、すなわち、自律／活用／行動規範を身に付けることで、ICT の優れた使い手になれる。

スマホの乱用で自分を見失い、スマホに使われるだけの「消費者」になるのではなく、スマホを含め、ICT を使って自分と周りの人の幸せを創る「生産者」になってほしいと強く願っています。学習用タブレットの適切な活用が、その一助になることを心から願っています。

心配事は後を絶たないかと思いますが、気軽に本校教員にご相談ください。保護者の皆さまと手を携えて、お子さんの確かな成長につなげていきたいと思っています。どうかよろしくお願いいたします。

令和 7 年 4 月 豊田市立竜神中学校長 緒方秀充